

学生セッション～未来ワークショップ～

10月17日（日）9:30～16:30 @オンライン 概要

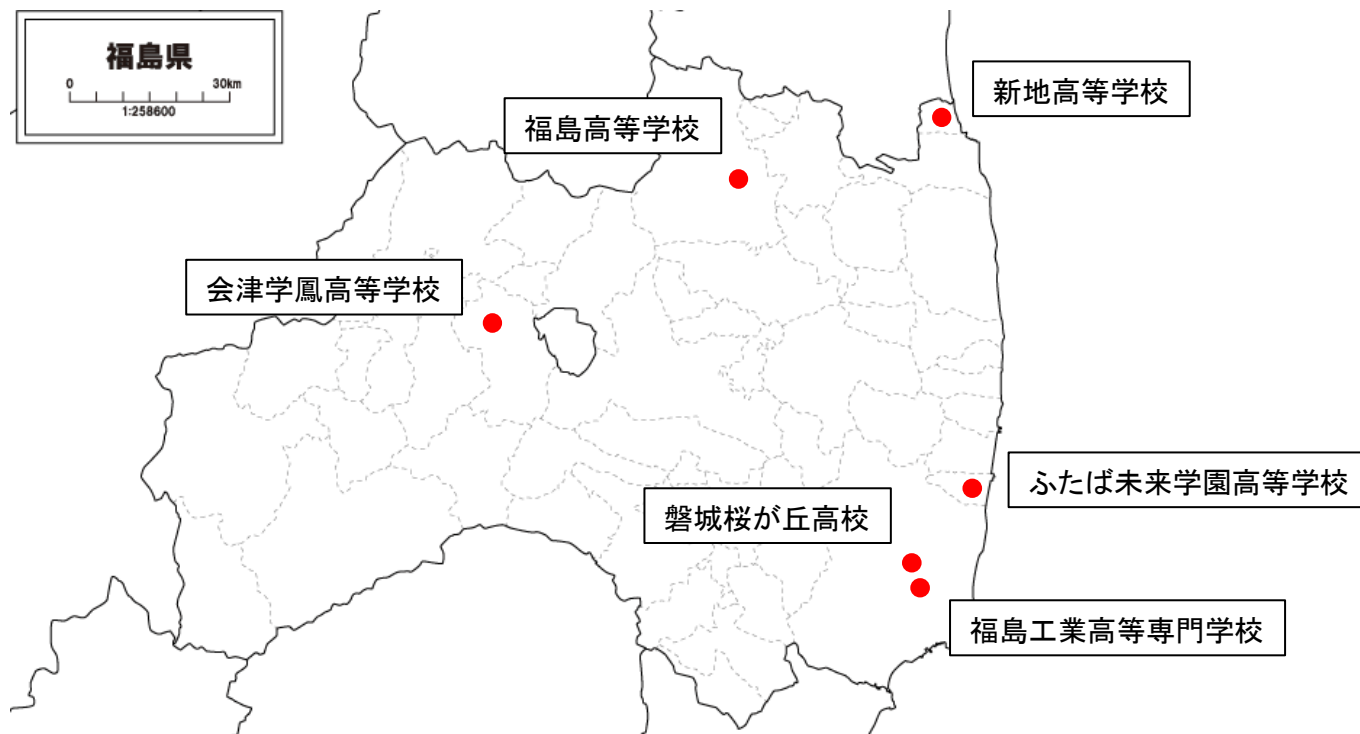


参加者 高校生15名

会津学鳳高等学校	3	高校1年生	2
磐城桜が丘高校	3	高校2年生	12
新地高等学校	1	高校3年生	1
福島工業高等専門学校	3		
福島高等学校	1	女性	6
ふたば未来学園高等学校	4	男性	9

開催方法

- ・ 完全オンライン（ZOOM利用）
- ・ レクチャー部分では、参加者は作業帖に記入
- ・ グループワークは3班に分けて実施
- ・ 千葉大学生3名が各班ファシリテーターとして参加
- ・ オンライン付箋紙ツールであるMIROを使用



1. レクチャー：震災後10年間の双葉地方の復興状況
9:30~11:10 (100分)



震災後10年間の 双葉地方の復興状況

千葉大学大学院社会科学研究院教授
倉阪秀史



Mr. OPoSSuM

広野町・楢葉町・富岡町・川内村・
大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村



<https://www.freemap.jp/>



1. レクチャー：震災後10年間の双葉地方の復興状況 9:30~11:10 (100分)



参加者のミッション

- ① 未来を担う立場から、将来、どのような地域を実現していくべきかを考えてください。
- ② 実現したい未来に近づくために、今から、どのような政策を実施すべきかを考えてください。

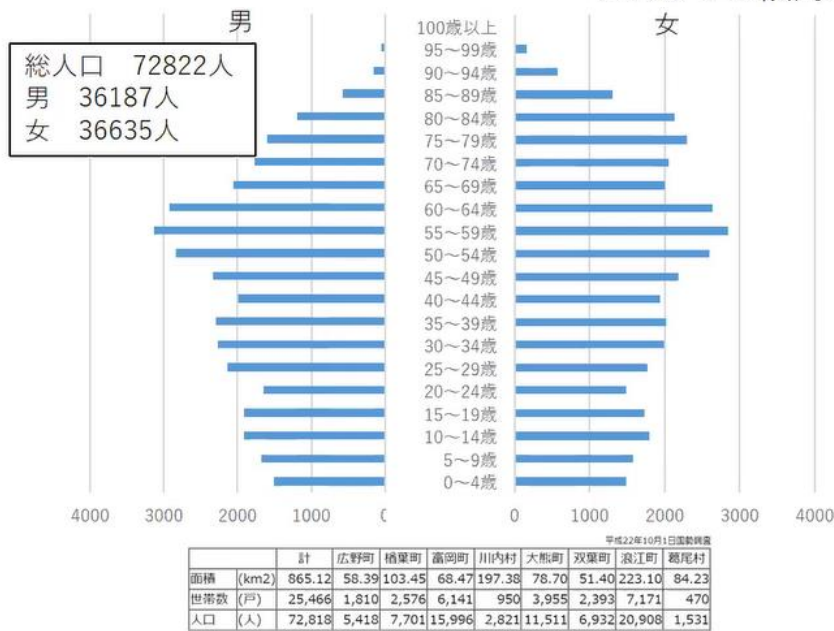


- 震災後10年間の復興の状況について、出来る限り、客観的なデータを集めました。
- これからお話しする人口予測は、みなさんの「政策」によって変えることができます。
「政策」：社会的課題を解決するために制度（ルール）を変えるための活動
- 未来を担う世代として、いまからどのような「政策」を実施すべきかを考えてください。
将来あるべき姿からのバックキャストिंग

1. レクチャー：震災後10年間の双葉地方の復興状況

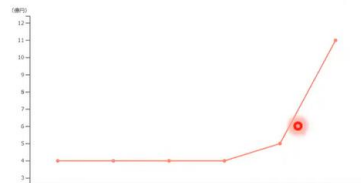
9:30~11:10 (100分)

これまでの傾向を延長した場合の2050年の双葉地方の人口



双葉地方の農業の状況

農業産出額 (総額)



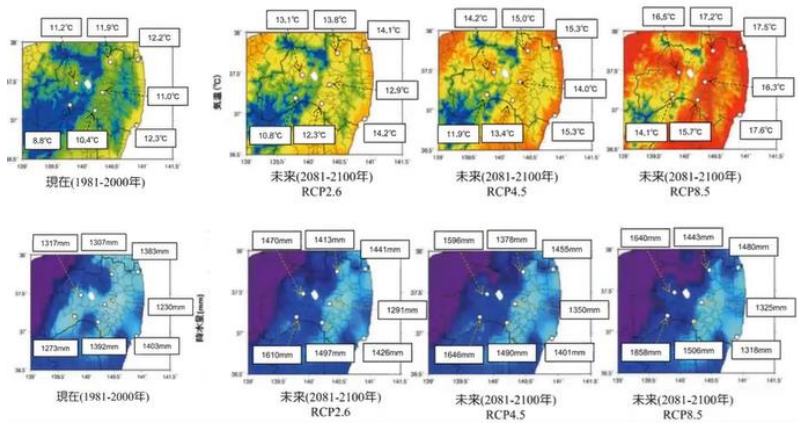
○ 双葉地域の農業産出額は2018年の約5億円から、2019年に11億円に増加。これは、2005年の約122億円の約9%。

○ 米 (3.4~4.8億円)、野菜 (0.9~2.4億円)、生乳 (-1.1億円)、肉用牛 (0.1~0.7億円)、いも類 (-0.5億円)、工業農作物 (0.1~0.4億円)、生乳以外の乳用牛 (-0.3億円)

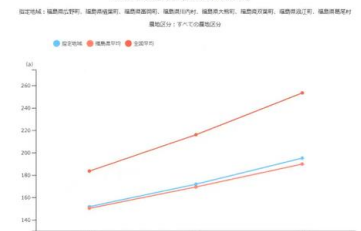
農業産出額

(億円)	2005	2019	2019年
双葉地方	121.9	11.4	
広野町	3.0	1.9	5.6%
楡葉町	8.6	3.2	10.9%
富岡町	20.3	0.3	1.1%
川内村	13.2	5.4	17.9%
大熊町	17.1	0.0	0.0%
双葉町	8.4	0.0	0.0%
浪江町	36.4	0.3	0.8%
葛尾村	14.9	0.3	1.0%

(出典) 農林水産省(参考)平成17年農業産出額(市町村別農業産出額)(2005)「確報 令和元年市町村別農業産出額(推計)」(2019)



経営耕地面積 (経営体あたり)



2018年



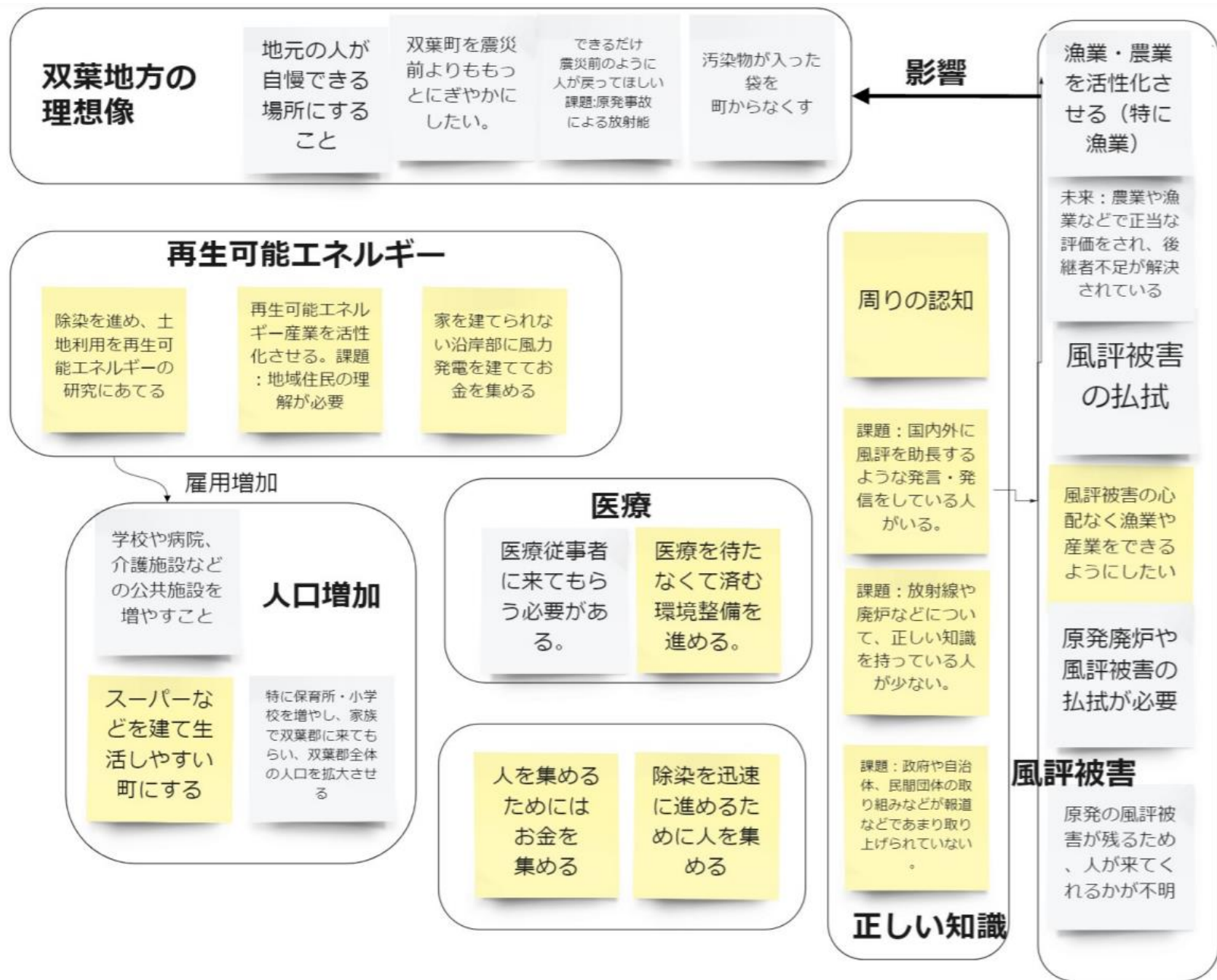
2. レクチャー：福島第一廃炉 10年の歩み
11:10~11:40 (30分)

NDF Nuclear Damage Compensation and Decommissioning Facilitation Corporation



福島第一廃炉
10年の歩み

1班 実現したい未来と課題



1班 今から行うべき政策

魅力の発信

双葉地方を舞台にしたスポーツ行事の開催(魅力発信)

YouTubeでの魅力発信

著名人などを積極的に登用し、話題性を持たせる。

マスメディアを活用した魅力発信

食

双葉郡でブランドの食品などを作る

双葉地方で農作物を外国の人たちに食べさせる

医療

双葉郡で働く医療従事者に金銭面を負担する

緊急時の医療体制を整える

身近に医療を受けられるようにする

魅力ある町作りとしてどこからでもすぐ通える病院

医療従事者の派遣

再生可能エネルギーは町民が迷惑にならないように徹底する {防音など}

東京に向けて電力エネルギーを供給する (売る)

再生可能エネルギー

正しい情報の発信

その情報が事実であるのかを検証する能力を身につける教育を行う。

教育の場にて、放射線や原発に関する授業時間を増やす。

全国の教育に放射線・原発についての教育を加える

事実を『大声で』、『繰り返し』、『徹底的に』国内外に発信する。

教育にかかるお金を県・国が負担する

原発の知識を身につけるための講演会を開く

正しい知識を広めるためにSNSを活用

報道機関に対し、放射線や廃炉などに関する情報の発信を働きかける。但し、圧力にならぬよう細心の注意を払う

国または自治体が費用を負担し、廃炉の現場などを実際に見てもらうツアーを実施する。

正しい情報発信

一人ひとりの呼びかけ

国際機関の査察などを通じて、広く世界に事実を発信する。

原発に関する教育を全国に普及する

首都圏に向けて電力を供給 (売る) する

インフラ整備のための募金活動

双葉郡に住む人に、金銭的待遇・雇用の待遇を与える

魅力ある街作り

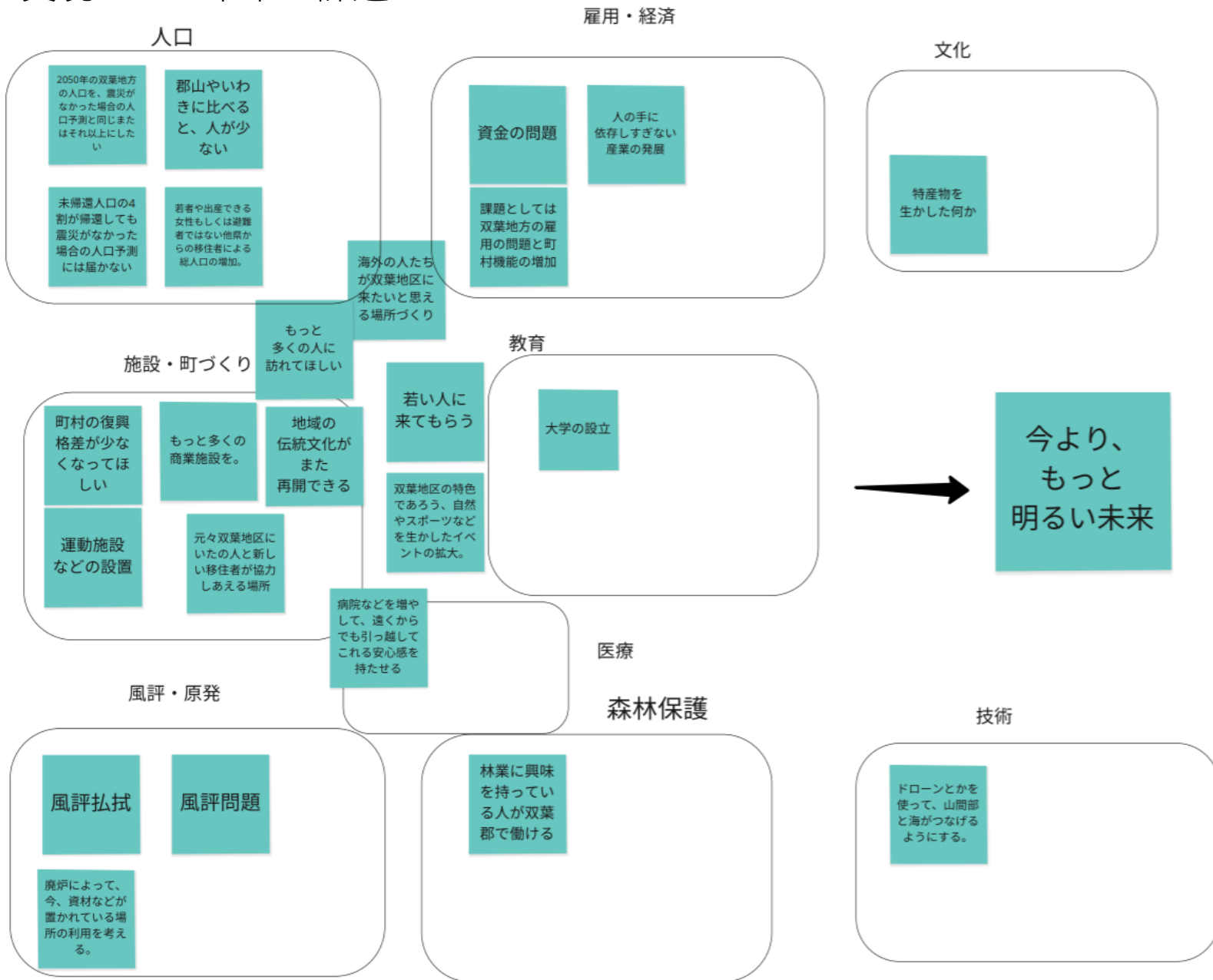
魅力ある町にするために公園、キャンプなどを作りどの世代でも楽しめるものを作る

よそ者、若者、馬鹿者、が活躍できるまちづくり

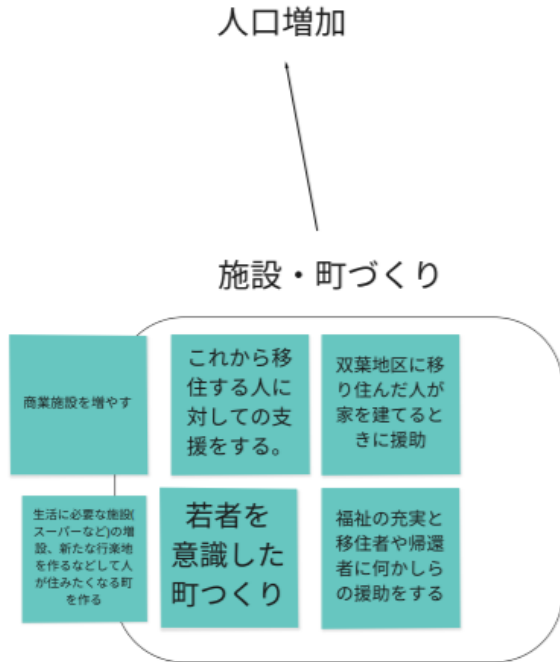
公共設備の建設

大型ショッピングモールみたいなものを作る

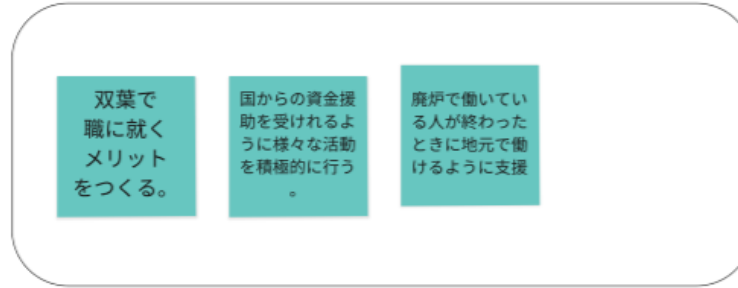
2班 実現したい未来と課題



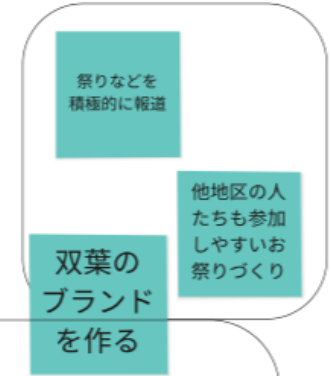
2班 今から行うべき政策



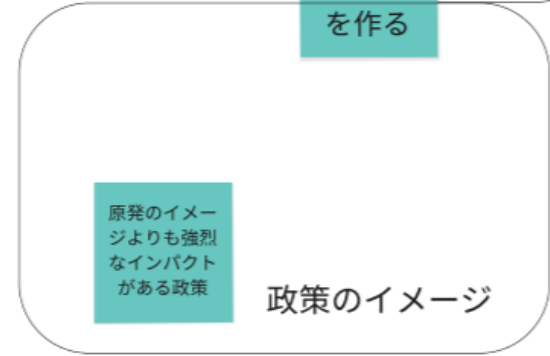
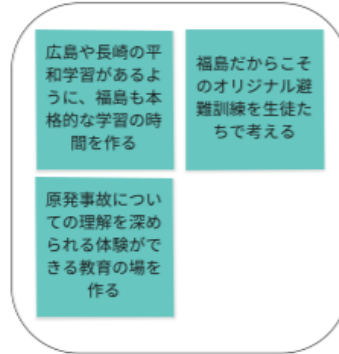
雇用・経済



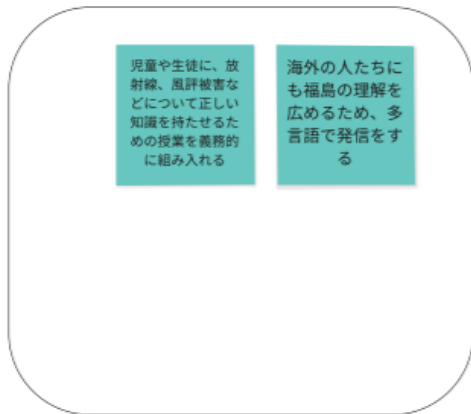
文化



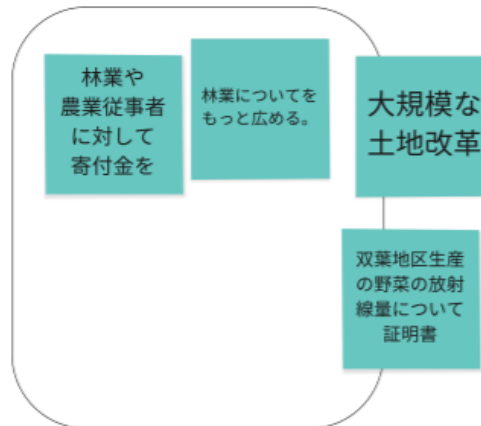
教育



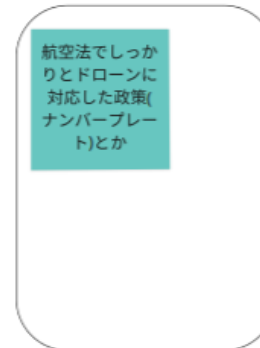
風評・原発



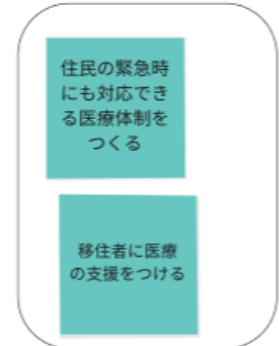
森林保護



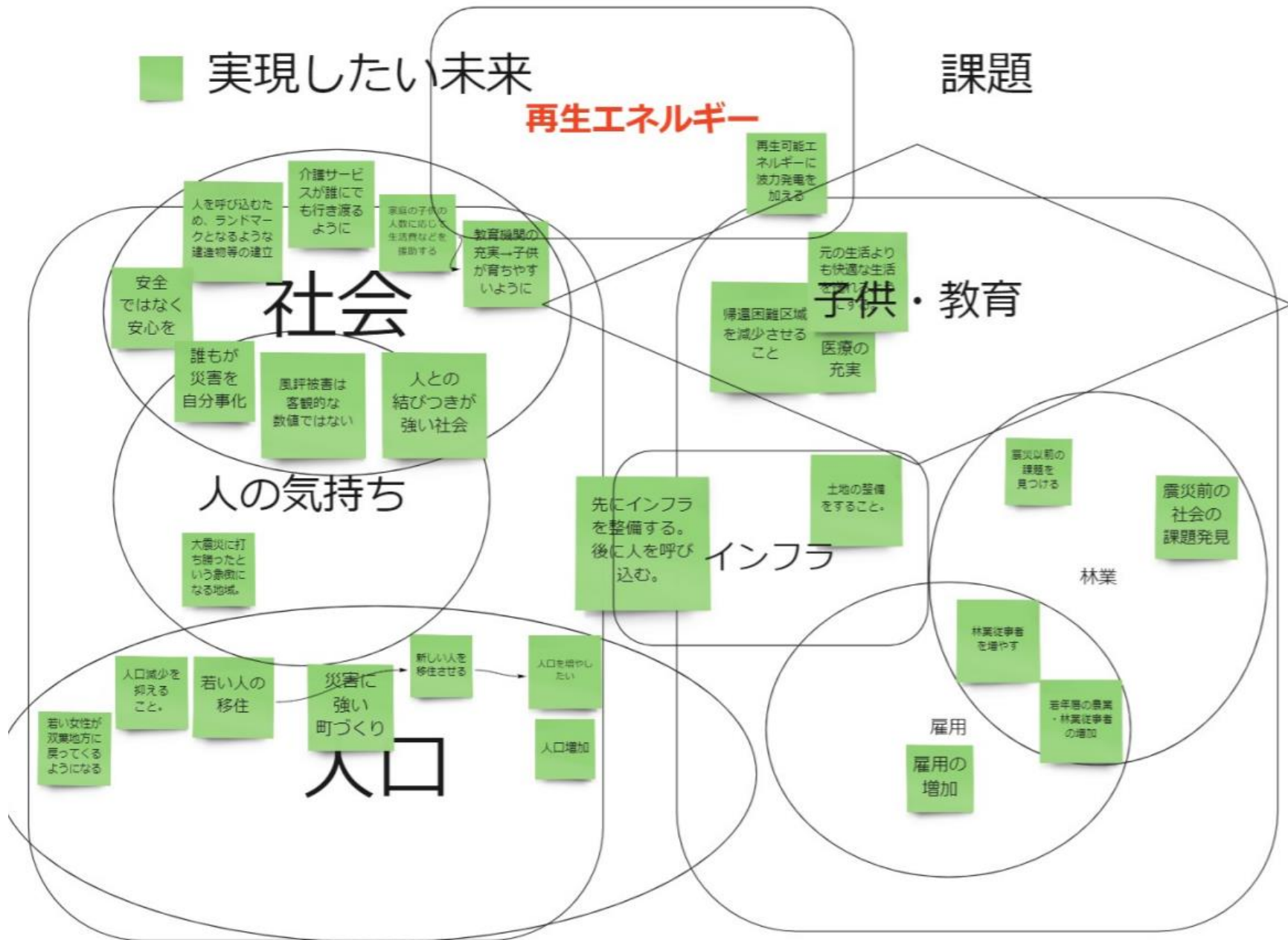
技術



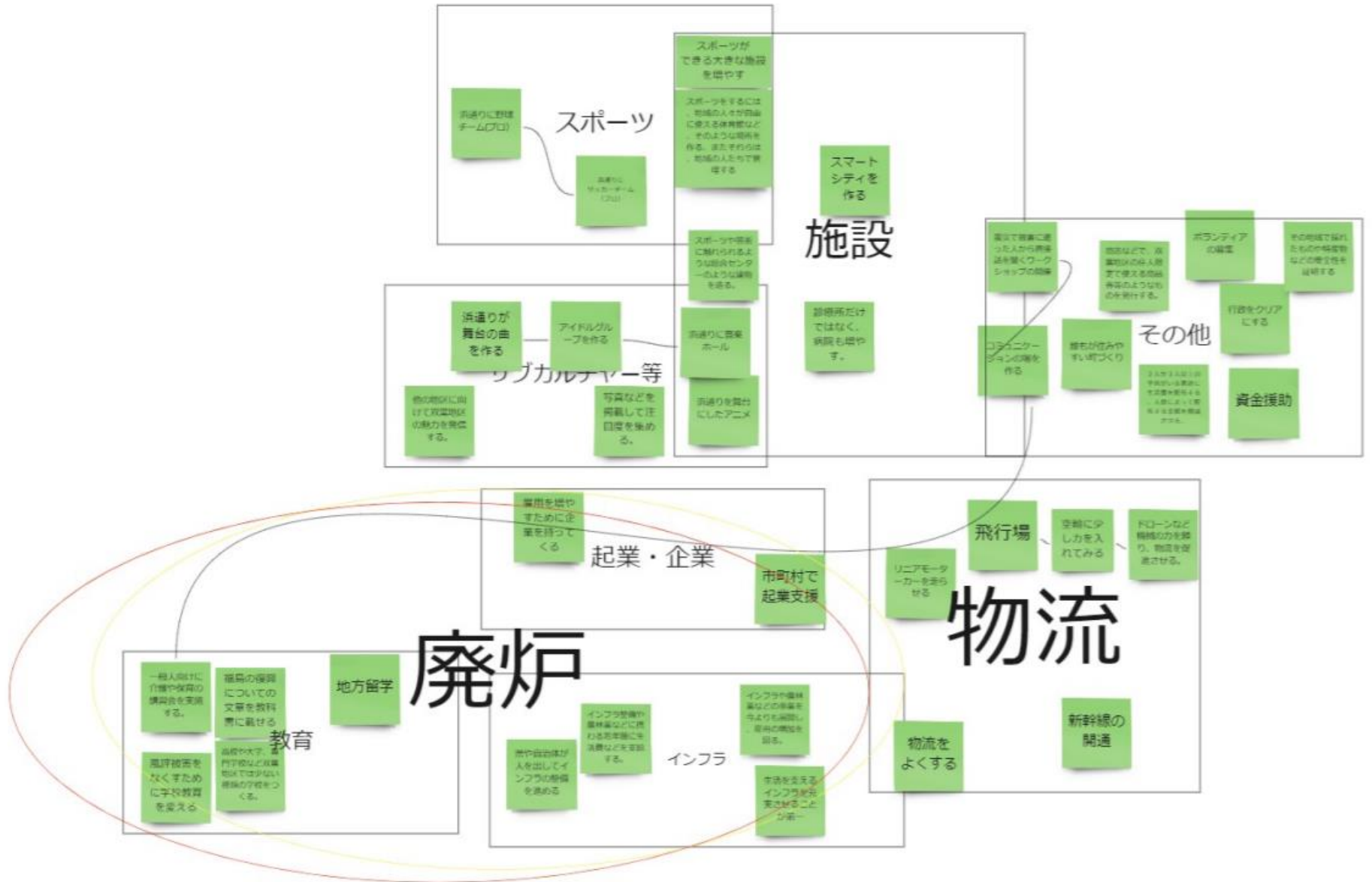
医療



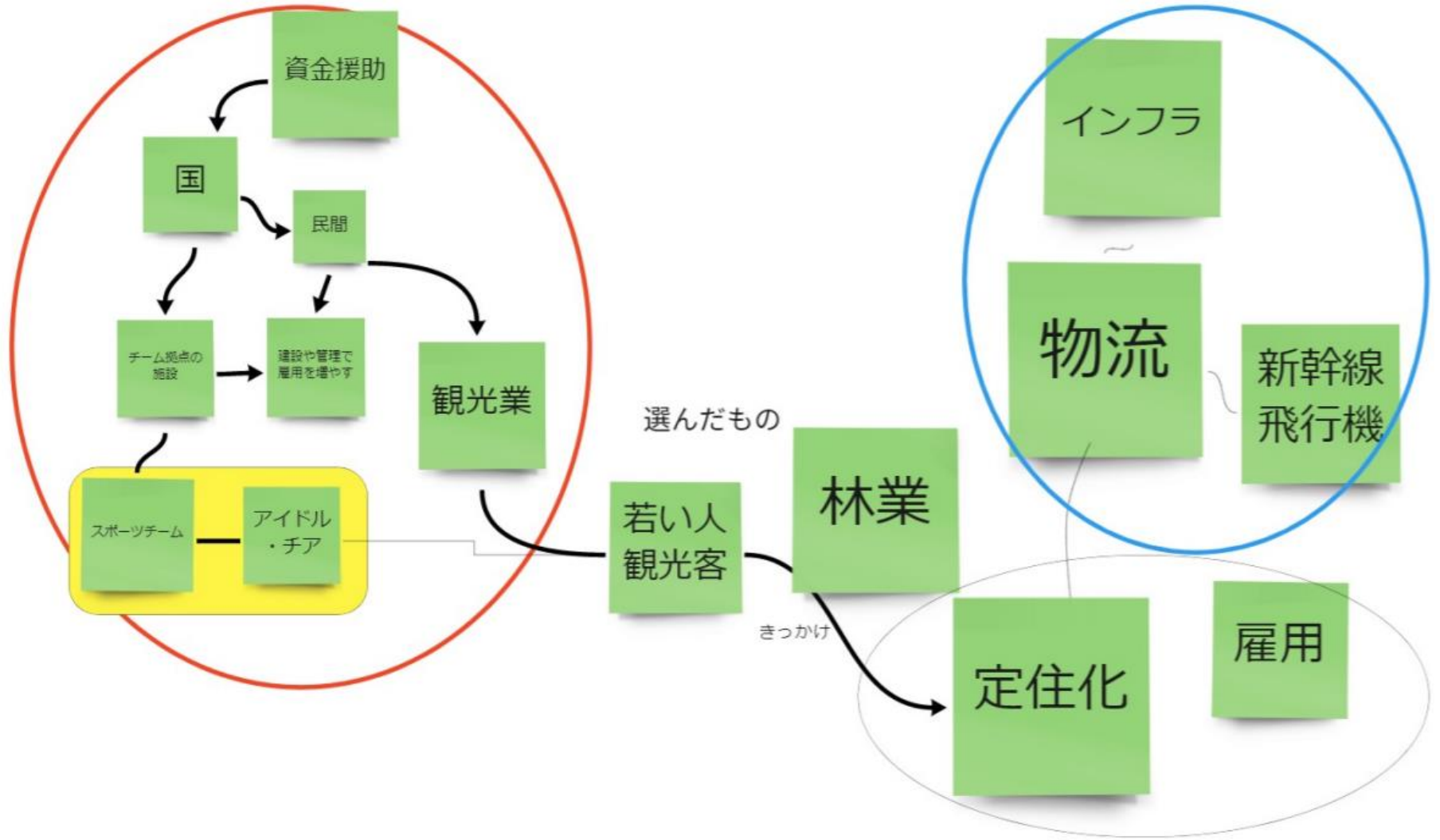
3班 実現したい未来と課題



3班 今から行うべき政策



3班 今から行うべき政策



3班 今から行うべき政策

政策1

目標:人を呼び込む

- ・スポーツチームやアイドルグループを作る



- ・活動拠点となる施設を建設、管理するために雇用が増える



- ・国や自治体にそのための資金援助をしてもらう

政策2

双葉地域へのアクセスをやすくする

- ・新幹線の開通、空輸



観光業、企業の誘致



雇用の増加、インフラ充実



人口増加

5. 成果発表:

15:20~16:15 (発表準備25分、発表各班10分x 3班)

3班MIROボード

政策1
目標:人を呼び込む
・スポーツチームやアイドルグループを作る
・活動拠点となる施設を建設、管理するために雇用が増える
・国や自治体にそのための資金援助をしてもらう

政策2
双葉地域へのアクセスをしやすいにする
・新幹線の開通、空輸
観光業、企業の誘致
雇用の増加、インフラ充実
人口増加

2班MIROボード

今から行へべき政策提言

人口増加

施設・町づくり

教育

文化

森林保護

大規模な土地改革

技術

医療

1班MIROボード

今から行へべき政策提言

魅力の発信

正しい情報の発信

魅力ある街作り

再生可能エネルギー

身近に医療を受けられるようになる

医療

クロージング



以下、参加学生からの発表用

運輸・物流

- リニアモーターカーを走らせる
- 飛行場
- 空輸に少し力を入れてみる
- 航空法でしっかりとドローンに対応した政策(ナンバープレート)とか
- ドローンなど機械の力を頼り、物流を促進させる。
- 物流をよくする
- 新幹線の開通

雇用・経済

- 双葉郡に住む人に、金銭的待遇・雇用の待遇を与える
- 国からの資金援助を受けられるように様々な活動を積極的に行う
- 雇用を増やすために企業を持っていく
- インフラや農林業などの事業を今よりも展開し、雇用の増加を図る。
- 双葉で職に就くメリットをつくる。
- 脱原発で働いている人が関わったときに地元で働くように支援
- 市町村で起業支援
- インフラ整備や農林業などに携わる若年層に生活費などを支給する。
- 商店などで、双葉地区の住人限定で使える商品券等のようなものを発行する。

エネルギー

- 首都圏に向けて電力(売る)する
- 東京に向けて電力エネルギーを供給する(売る)
- 再生可能エネルギーは町長が迷惑にならないように徹底する(防音など)

施設・町づくり

- コミュニケーションの場を作る
- 生活を支えるインフラを充実させることが第一
- スマートシティを作る
- 大型ショッピングモールみたいなものを作る
- 商業施設を増やす
- これから移住する人に対する支援をする。
- 双葉地区に移り住んだ人が家を建てるときに援助
- 2人以上の子供がいる家庭に生活費を助ける。人数によって配布する金額を増減させる。
- 誰もが住みやすい町づくり
- 農や自治体が出してインフラを整備を進める
- インフラ整備のための募金活動
- 公共設備の建設
- 生活に必要な施設(スーパーなどの施設、新たな商業地を作るなどして人が住みやすくなる町を作る)
- 若者を意識した町づくり

医療・福祉

- 福祉の充実と移住者や帰還者に何かしらの援助をする
- 魅力ある町作りとしてどこからでもすぐ通える病院
- 医療従事者の派遣
- 双葉郡で働く医療従事者に金銭面を負担する
- 住民の緊急時にも対応できる医療体制をつくる
- ボランティアの募集
- 診療所だけではなく、病院も増やす。
- 移住者に医療の支援をつける
- 資金援助
- 一般人向けに介護や保育の講習会を実施する。
- 緊急時の医療体制を整える

行政・政策

- 原発のイメージよりも強いインパクトがある政策
- 行政をクリアにする

スポーツ・文化

- 他地区の人たちも参加しやすいお祭りづくり
- 浜通りにサッカーチーム(プロ)
- 浜通りに野球チーム(プロ)
- スポーツをするには、地域の人や自由に使える体育館など、そのような場所を作る。またそれには、地域の人たちで管理する。
- スポーツや芸術に触れられるような総合センターのような建物を作る。
- 浜通りに音楽ホール
- 浜通りを舞台にしたアニメ
- 浜通りが舞台の曲を作る
- アイドルグループを作る
- 魅力ある町にするために公演、イベントなどを作ったりの世代でも楽しめるものを作る
- 双葉地方を舞台にしたスポーツ行事の開催(魅力発信)

ふたば未来ワークショップ (2021年10月17日)

森林保護

- 林業や農業従事者に対して寄付金を
- 双葉地区生産の野菜の放射線量について証明書
- 大規模な土地改革
- 林業についてをもっと広める。

魅力の発信

- 双葉のブランドを作る
- 著名人などを積極的に登用し、話題性を持たせる。
- 他地区に向けて双葉地区の魅力を発信する。
- 震災で被害に遭った人から直接話を聞くワークショップの開催
- 国際機関の査察などを通じて、広く世界に事実を発信する。
- 海外の人たちにも双葉の魅力を広めるため、多言語で発信をする
- 祭りなどを積極的に報道
- YouTubeでの魅力発信
- 写真などを掲載して注目度を集める
- 双葉郡でブランドの食品などを作る
- 双葉地方で農作物を外国の人たちに食べさせる

風評被害

- 正しい知識を広めるためにSNSを活用
- 一人ひとりの呼びかけ
- 正しい情報発信
- 事実を「大声で」、「繰り返し」、『徹底的に』国内外に発信する。
- その地域で採れたものや特徴的なものを証明する
- 原産の知識を身につけるための講演会を開く
- 報道機関に対し、差別報道や誤報などが発生する時の対応を働きかける。但し、正方向にならぬよう新聞の注意を払う
- 震災で被害に遭った人から直接話を聞くワークショップの開催
- 国際機関の査察などを通じて、広く世界に事実を発信する。
- 海外の人たちにも双葉の魅力を広めるため、多言語で発信をする

教育

- 教育にお金を県・国が負担する
- 全国の教育に放射線・原発についての教育を加える
- 地方留学
- 風評被害をなくすために学校教育を変える
- 原発事故についての理解を深められる体験ができる教育の場を作る
- 教育の場にて、放射線や原発に関する授業時間を増やす。
- その情報や事実であるのかを検証する能力を身につける教育を行う。
- 福島の復興についての文章を教科書に載せる
- 高校や大学、専門学校など双葉地区では少ない種類の学校をつくる。
- 福島だからそのオリジナル選抜訓練を生徒たちで考える
- 広島や長崎の平和学習があるように、福島も本格的な学習の時間を作る
- 児童や生徒に、放射線、風評被害の状況について正しい知識を持たせるための授業を積極的に取り入れる



1班 2班 3班

事故の検証

事故を未然に防ぐことは可能だったのか？

原発での事故が起きてから現在までの政府やNDF、東電などのさらに詳細な対応

どうして原子炉ごとにここまで被害が異なるのか。

現在の地震／津波対策

もし現在震災と同じくらいの地震や津波が来たら廃炉作業はどうなるのか。

現在の廃炉は地震や津波対策があるのか。

廃炉スケジュール・費用・人員

これから廃炉は順調に進むのかについての何か確認のようなものがあるのを知りたい。

廃炉を安全なものにするための費用はどのくらいかかるのか

廃炉はスケジュール通りに進むのか

人員はどのくらい用いるのか

廃炉の具体的な作業内容／核燃料デブリ

燃料デブリの取り出しが終わったら廃炉作業はほぼ終わりみたいなのなんですか？

・燃料デブリを残したまま石棺することは可能か？

核燃料デブリの具体的な取り出し方法

原子炉から取り出したものはどのような処置がとられているのか。

今後の燃料デブリや固体廃棄物の保存方法や保存先はどのような案が出ているのですか？

燃料デブリの保管方法は？（処分方法）

廃炉を進めていくうえで、放射線量の高い原子炉内に人が入るのは、無理に近いです。しかし、ロボットを代わりに使えばいいと思います。そこで、ロボットを活用するうえで難しいとなるポイントは何ですか？

廃炉から燃料デブリを取り出す際の詳細な手順や方法

固体廃棄物と燃料デブリの主な成分など

地域・住民の理解

地域の理解を得るために国際フォーラムなどで十分なのか。

住民への理解はどのように進めているのか？

廃炉作業の地域経済への影響／廃炉後

福島の今までの廃炉作業で地元経済への貢献はどのくらいあったのか

廃炉作業に産業が依存したからリスクはないのか。

廃炉従事者が、廃炉が終わったときに地元から離れるのを防ぐ方法。

廃炉が終わった後にその土地に建造などはできるのか。

今後原子力発電所は震災前のように使用されるのか

廃炉作業が産業の中核になったとして廃炉作業後の地元の雇用や経済はどうなるのか。

風評被害

風評被害払拭のためにやっている対策を具体的に教えてほしいです。

風評被害をなくすために今どのような対策をしているのかが知りたい。

廃炉による風評被害はどのくらいあると考えられますか。

海外における風評について、例えば外国政府の要人などが直接視察するといったことはできるのでしょうか

理解を得るために

最近自衛隊について芸能人を起用し深く掘り下げる番組が見られますが、廃炉などの現場でも似たようなことをする計画はありますか。

国外の事例

チェルノブイリ原発事故などは廃炉について関係ありますか？

・国外の原発事故ではどのような廃炉を行ったのか？（方法、最終目標）

処理水の海洋放出

汚染水と処理水の違い

トリチウムを海洋放出した際の詳細な環境への影響

トリチウムの海洋放出について風評被害を減らす策としてどういうものを考えていますか？

処理水の生物実験はしているのか

チェルノブイリのように処理水を地中深く埋めることは可能ですか

学生セッション参加者から出された「廃炉について知りたいこと」

2021年10月17日